

1) 研究課題名

免疫組織化学、形態計測学的解析による子宮内膜増殖性病変の鑑別

2) 研究の目的と意義

子宮内膜増殖性病変には単純子宮内膜増殖症、異型内膜増殖症、子宮内膜腺癌などが含まれます。その発生頻度は近年増加傾向しており、診断のために内膜の生検が行われる頻度も増加しています。特に異型内膜増殖症と高分化な類内膜腺癌の病理組織学的な鑑別はしばしば困難なことがあります。今回われわれは、典型的な子宮内膜増殖性病変の生検検体を用いて、形態計測や、種々のマーカーを用いた免疫組織染色が、鑑別の補助にならないか検討することを計画しました。

3) 研究の方法

検討には国家公務員共済組合連合会名城病院で診断のために採取された子宮内膜増殖性病変病理検体のホルマリン固定、パラフィン包埋ブロック(約50例分)を用います。これらのブロックから薄切した組織切片に対しHE染色及び免疫組織化学染色(CD34, D2-40, CD105, Ki-67, Estrogen receptor, Progesteron receptor)を施行し、デジタル顕微鏡撮影装置を用いて顕微鏡画像を取得し、核面積や円形率などの形態計測データや血管及びリンパ管の密度・新生の程度、hormone receptor, 増殖率を解析します。得られたデータを統計学的に比較検討します。

4) 倫理的配慮

研究に用いる材料からは形態学的情報のみを取得し、遺伝子情報などは検索しません。症例の識別に氏名は用いず、新たに付した検体番号のみを使用し、第三者による個人の特定ができないように配慮します。臨床所見、病情報も匿名化されたデータとして扱います。

5) 研究機関

名古屋大学医学部保健学科

6) 苦情等の連絡先

名古屋大学医学部保健学科庶務掛

電話番号：052-719-1504

名古屋大学医学部保健学科検査技術科学専攻病因・病態検査学講座

長坂徹郎

住所：名古屋市東区大幸南一丁目1番22号

電話番号：052-719-3152, FAX:052-719-3152